

特定施設及び除害施設に係る
別紙記入要領及び記入例

排水処理施設設置事業場用

廃液回収とpH調整による処理（例：試験・研究業）

※記入について不明な点等ありましたら、所管の下水道事務所にお問合せください。
なお、届出の際には、当局から追記・修正をお願いする場合があります。

届出別紙記入要領及び記入例

目次

- p.1・・・ 1. 工場又は事業場の概要 特定施設の構造及び使用の方法
- (1)工場又は事業場の規模等
 - (2)主要製品名及び生産量
 - (3)操業の系統（作業工程フローシート）
- p.2・・・ (4)特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料
- (5)特定施設等の設置場所及び特定施設等に関連する
機械・装置の配置（別添図）
- p.3・・・ (6)特定施設等から排出される汚水等の汚染状態
- p.4・・・ 2. 除害施設の構造及び使用の方法 汚水等の処理方法、下水の量及び水質、用排水の系統
- (1)汚水等の処理の系統（フローシート）及びその説明
- P.5・・・ (2)処理施設の種類、構造、使用時間及び消耗資材
- (3)処理施設の設置場所及び配置（別添図）
- p.6・・・ (4)処理施設別、汚水量及び水質
- p.7・・・ (5)汚水等の処理によって生じる残さ及び濃厚廃液の種類等
- (6)施設の建設費等
 - (7)使用水量
- p.8・・・ (8)用水及び排水の系統（別添図）
- (9)公共下水道へ排除する下水の量及び水質

1. 工場又は事業場の概要 特定施設の構造及び使用の方法

(1) 工場又は事業場の規模等

- | | |
|--------------|--|
| ア 業種 | 事業場で行う業務について、日本標準産業分類を参考に記入してください。 |
| イ 当該事業場創業年月日 | 当該事業場で事業を始める年月日(当該事業場の実際の稼働年月日)を記入してください。 |
| ウ 操業時間 | 操業開始時刻と操業終了時刻を記入してください。
又、操業時間(休息、休憩時間を含む。)については()内に記入してください。 |
| エ 資本金 | 単位は「万円」で記入してください。
なお、個人事業の場合は「個人」と記入してください。 |
| オ 従業員数 | 届出の対象となっている事業場の従業員数(パート及びアルバイトを含む。)を記入してください。
なお、他に本社や事業場等がある場合は、()内に全従業員数を記入してください。 |
| カ 休業日 | 例えば「日・祝日」、「月・第四木曜日」のように記入してください。 |
| キ 水質管理責任者 | 有資格者を水質管理責任者として選任し、届出書を提出している場合に記入してください。 |

(2) 以下、次頁以降の記入例を参考に記入してください。

※下水道局からこの別紙の他に必要な添付書類（図面、カタログ等）の提出を求められた場合は、御協力いただきますようお願いいたします。

工場又は事業場の概要

1. 特定施設の構造及び使用の方法

(1) 工場又は事業場の規模等

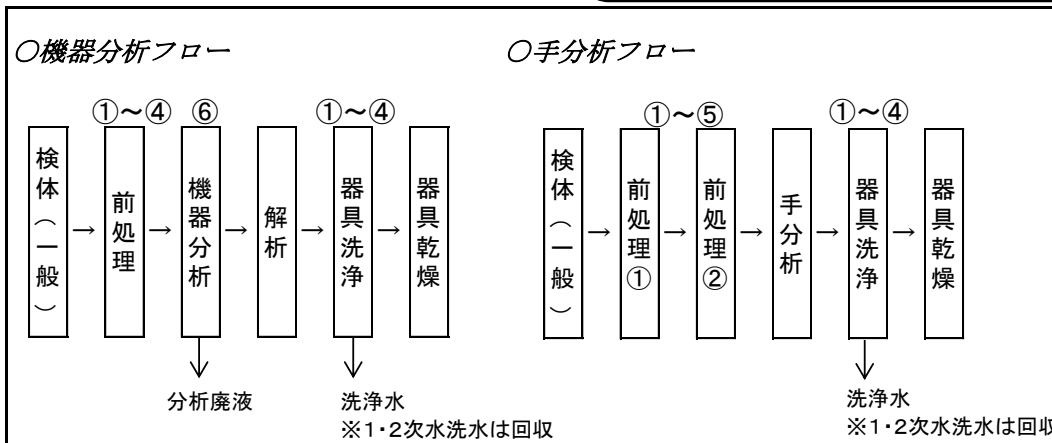
業 種	試験・研究業	資 本金	5000 万円	敷地面積	50 m ²
当該事業場 創業年月日	平成27年7月1日	従業員数	10 人 (30) 人	作業場面積	35 m ²
操業時間	9時 ~ 18時 (9 時間)	休 業 日	土・日・祝祭日	水質管理 責任者	

(2) 主要製品名及び生産量

食品・化粧品等の成分分析 200検体/月

・(2)には、主たる業務内容を記入してください。
 ・生産量は金額ではなく物量単位とし、日または月の平均で記入してください。季節変動がある場合はその旨を記入してください。

(3) 操業の系統 (作業工程フローシート)



・全作業工程を図示してください。
 書ききれない場合は別紙としても構いません。
 ・特定施設を含め排水・廃液が出る全ての施設については、下向きの矢印により排出される物質名を記入してください。
 ・記入した施設には、番号をつけてください。番号は、次頁以後の記載内容及び添付した図面と一致するようにしてください。

(4) 特定施設等の種類、構造、使用時間及び使用原材料

施設番号	①	②	③	④	⑤	⑥
施設の名称	流し	流し	流し	流し	ドラフト チャンバー	液体クロマト グラフィ
形式	AA-0120-B	AA-0125-C	AA-0125-C	AA-0125-C	BB-120 標準型	EX-XR
構造	ステンレス製	ステンレス製	ステンレス製	ステンレス製	別紙カタログ の通り	別紙カタログ の通り
主要寸法	W1000×D500 ×H820	W500×D500 ×H820	W500×D500 ×H820	W500×D500 ×H820	別紙カタログ の通り	別紙カタログ の通り
能力	—	—	—	—	別紙カタログ の通り	別紙カタログ の通り
工事着手 (予定)年月日	平成27年 6月1日	同左	同左	同左	同左	同左
工事完成 (予定)年月日	平成27年 6月20日	同左	同左	同左	同左	同左
使用開始 (予定)年月日	平成27年 7月1日	同左	同左	同左	同左	同左
使用時間間隔及 び1日あたりの 使用時間	9時～18時 (9時間)	9時～18時 (9時間)	9時～18時 (9時間)	9時～18時 (9時間)	9時～18時 (9時間)	9時～18時 (9時間)
季節変動の概要	なし	なし	なし	なし	なし	なし
使用原材料の 種類、使用方法 及び使用量	使用薬品は別 添リストのと おり	使用薬品は別 添リストのと おり	使用薬品は別 添リストのと おり	使用薬品は別 添リストのと おり	使用薬品は別 添リストのと おり	使用薬品は別 添リストのと おり
その他	一・二次洗 浄水は回収	一・二次洗 浄水は回収	一・二次洗 浄水は回収	一・二次洗 浄水は回収		分析廃液は 回収し、委 託処分

・特定施設のみでなく、排水・廃液を排出する施設について、名称と施設番号を記入してください。ただし、トイレや事務室の手洗い場など、生活排水のみが排出される施設については、記入は不要です。

・施設番号は前ページの作業工程フローシートに記入した番号及び添付図と一致するようにしてください。

・形式は施設の型式・品番等を記入してください。

・構造は「ステンレス製」「塩ビ製」などと記入してください。また、可能な限り構造図(断面図)やカタログ・諸元表等を添付してください。

・季節変動がある場合はその旨を記入してください。

・使用する原材料や薬品の名称・量を記入してください。書ききれない場合は別途リストにして提出してください。特定施設毎の使用量を推定するのが困難な場合は、薬品リストに合計量を記載するだけでも構いません。

・排水に関して他に情報がある場合は、その他欄に記入してください。

・休止中の場合は「その他」にその旨を記載してください。

(5) 特定施設等の設置場所及び特定施設等に関連する機械・装置の配置 別添第(1)図のとおり

・工場又は事業場全体の平面図に、特定施設及びその他の排水が出る施設の設置場所を明示して提出してください。特定施設等には(4)の施設番号と対応した番号をつけてください。

施設の名称		① 流し	② 流し	③ 流し	④ 流し	⑤ ドラフト チャンバー	⑥ 液体クロマト グラフィー
汚水量 (m ³ /日)	通常	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1	0.002
	最大	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.005
pH	通常	5~9	5~9	5~9	5~9	6~8	
	最大	5~9	5~9	5~9	5~9	6~8	
と素	通常	0.01	0.01	0.01	0.01		
	最大	0.01	0.01	0.01	0.01		
ベンゼン	通常					0	
	最大					0.01	
ほう素	通常	10	1	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
	最大	15	2	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
ふっ素	通常	0.2未満					
	最大	0.2未満					
1,4-ジオキサン	通常	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	最大	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	
銅	通常	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
	最大	3未満	3未満	3未満	3未満	3未満	
亜鉛	通常	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	最大	2未満	2未満	2未満	2未満	2未満	
フェノール類	通常	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	最大	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	
	通常						
	最大						
	通常						
	最大						

・排水のする施設について記載してください。施設の名称は2頁(4)と同じとし、2頁の施設番号も記入してください。

・「通常」の欄には1日の平均排水量(水質)を記入してください。変動がある場合には「最大」の欄に1日の最大排水量(最大濃度の水質)も記入してください。

・「水質」の欄には、下水排除基準表から、排出される可能性のある水質項目と濃度をすべて記入してください。

単位・温度、pHを除きmg/l、ダイオキシン類はPgTEQ/l

ー・二次洗浄水は回収し委託処分
液体クロマトグラフィーからの廃液は全量回収し委託処分

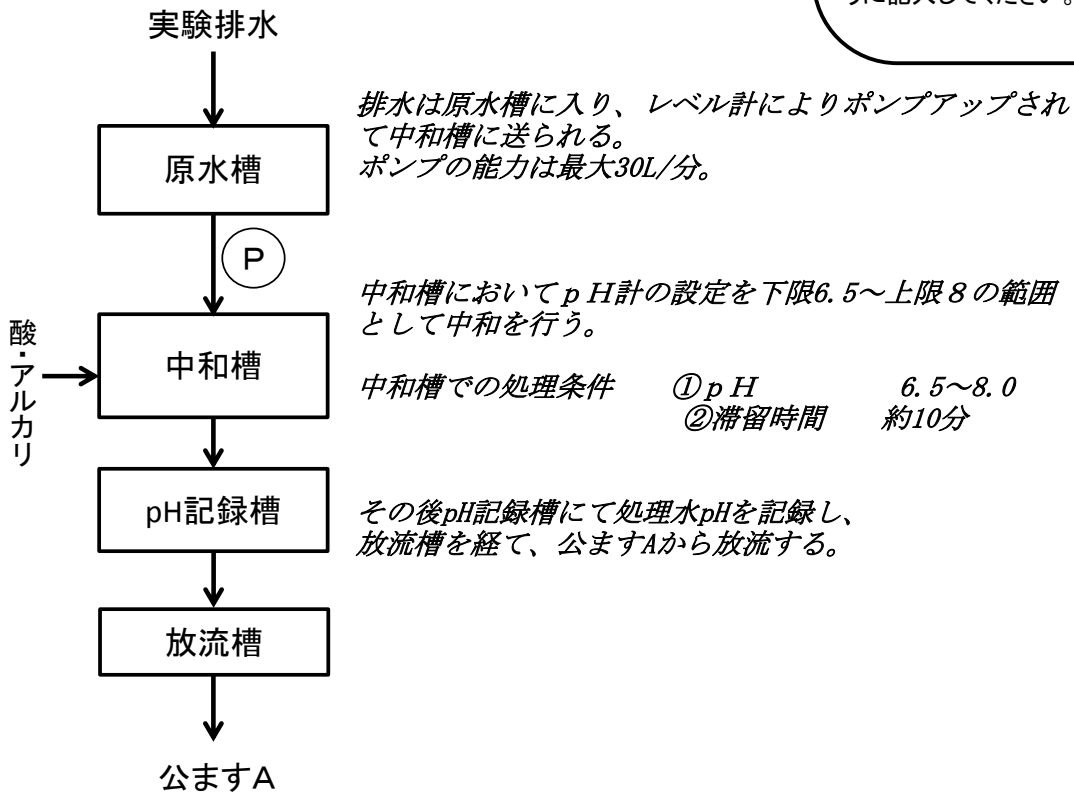
2.

汚水等の処理方法、下水の量及び水質、用排水の系統

(1) 汚水等の処理の系統（フローシート）及びその説明

- ・排水の経路図は、別添第1図のとおり。
- ・排水処理の平面図・フローシート及び各槽の概要は、別添第2図のとおり。

汚水等の処理の説明



・汚水等の処理工程を付属機器類・槽の有効容量を含めて全て記載してください。書ききれない場合は別添としてください。

・汚水等の処理方法については、処理条件も含めて詳細がわかるように記入してください。

※実験排水のうち、濃厚廃液、一次洗浄水、二次洗浄水はポリタンクに貯留し、業者委託処分とする。

(2) 処理施設の種類の種類、構造、使用時間及び消耗資材

処理施設の名 称	中和 処理装置					
形 式	連続自動式		<ul style="list-style-type: none"> ・除害施設ごとに記入してください。 ・形式には「連続自動式」「回分式」などと記入してください。 ・構造には除害施設の主要部分の材質を記入してください。 (例、コンクリート製) ・付属機器類は使用やカタログ等を添付してください。 ・処理の方式には排水処理の方法を記入してください。 (例、凝集沈殿法、中和法、還元法など) ・書ききれない場合は別紙として資料を添付してください。 			
構 造	FRP製					
主 要 寸 法	別添図の通り					
付 属 機 器 類	〃					
能 力	〃					
処理の方式	中和法					
工 事 着 手 (予定)年月 日	平成27年 6月1日					
工 事 完 成 (予定)年月 日	平成27年 6月20日					
使 用 開 始 (予定)年月 日	平成27年 7月1日					
使用時間間隔 及び1日あた りの使 用	9時～18時 (9時間)					
季節変動の概 要	なし					
消耗資材の 種類、用途 及び使用量	消耗資材(薬 品) 水酸化ナトリウ ム(10%) 500 L/月 硫酸(5%) 200 L/月		<ul style="list-style-type: none"> ・処理施設に使用する消耗資材を記入してください。 資材の内容がわかるよう、なるべくパンフレットやカタログ を添付してください。 			
そ の 他						
			<ul style="list-style-type: none"> ・工場又は事業場の配置図の中に、処理施設の設置場所 を明示してください。 			

(3) 処理施設の設置場所及び配置 添付第(1・2)図のとおり

処理施設の名称		中和 処理装置				
汚水量 (m ³ / 日)	通常	0.3				
	最大	0.5				
水 質 単位・ 温度、 pHを除き mg / l、 ダイオキシン類 はpg / TEQ / l	pH	処理前	5~9			
		処理後	6~8			
	と素	処理前	0.01			
		処理後	0.01			
	ベンゼン	処理前	0			
		処理後	0			
	ほう素	処理前	1			
		処理後	1			
	ふっ素	処理前	0.2未満			
		処理後	0.2未満			
	1,4-ジオキサン	処理前	0.1			
		処理後	0.1			
	銅	処理前	0.02			
		処理後	0.02			
	亜鉛	処理前	0.01			
		処理後	0.01			
フェノール類	処理前	0.1				
	処理後	0.1				
	処理前					
	処理後					
	処理前					
	処理後					

・汚水量(m³/日)の「通常」の合計は、7頁(7)のうちの洗浄用水の合計と一致させてください。

・汚水の系統毎に汚水の量と、処理前後の水質を記入してください。水質欄の項目と処理前の水質は3頁(6)と同じにしてください。

(5) 汚水等の処理によって生じる残さ及び濃厚廃液の種類等

第2号様式

残さ等の種類	分析廃液	廃有機溶剤	廃薬品
生成量	100 L/月	50 L/月	不定期
含水率	—	—	—
保管方法	20Lポリタンクに入れ、薬品庫にて保管	20Lポリタンクに入れ、薬品庫にて保管	密封し廃棄まで薬品庫にて保管
処理・処分の方法	業者委託	業者委託	業者委託
処理業者	運搬・処理 株式会社 OO環境安全社 許可番号：0000000000	同左	同左

・廃液・汚泥等、排水処理にかかわる廃棄物が発生する場合、その内容を記入してください。
(廃棄物の例：汚泥、濃厚廃液(廃酸、廃アルカリ、有機溶剤)、イオン交換カートリッジ)

・含水率が未測定の場合、スラリー(未脱水)状ならば98%、脱水されていれば80%と記入してください。

・委託処理を行う場合、運搬・処理業者との契約の内訳が確認できるもの(契約書の写し等)も添付してください。

(6) 施設の施工者

名称	東京施設施工 株式会社
住所	東京都新宿区西新宿2-8-1

・除害施設の施工者について記入してください。

(7) 使用水量 (m³ /日)

給水源 \ 用途	原料用水	洗浄用水	冷却用水	生活用水	その他 ()	合計
上水道		0.3		1		1.3
工業水道						
その他 ()						
合計		0.3		1		1.3

・使用する水量について、項目毎に記入してください。

・使用水量の合計は水道料金請求書等で確認してください。詳細な内訳量が不明な場合は推定で構いません。また、項目が足りない場合は追記しても構いません。

・洗浄用水の合計は3頁及び6頁の通常汚水量の合計と一致します。

・使用水量の合計のうち、原料用水を除いた量は、8頁の排水量(通常)の合計と一致します。

・公共下水道使用開始(変更)届を同時に提出する場合は、合計水量から原料用水を除いた量×稼働日数が月水量に一致します。休業日も生活排水がある場合は、その旨考慮してください。

(8) 用水及び排水の系統 添付第(1)図のとおり

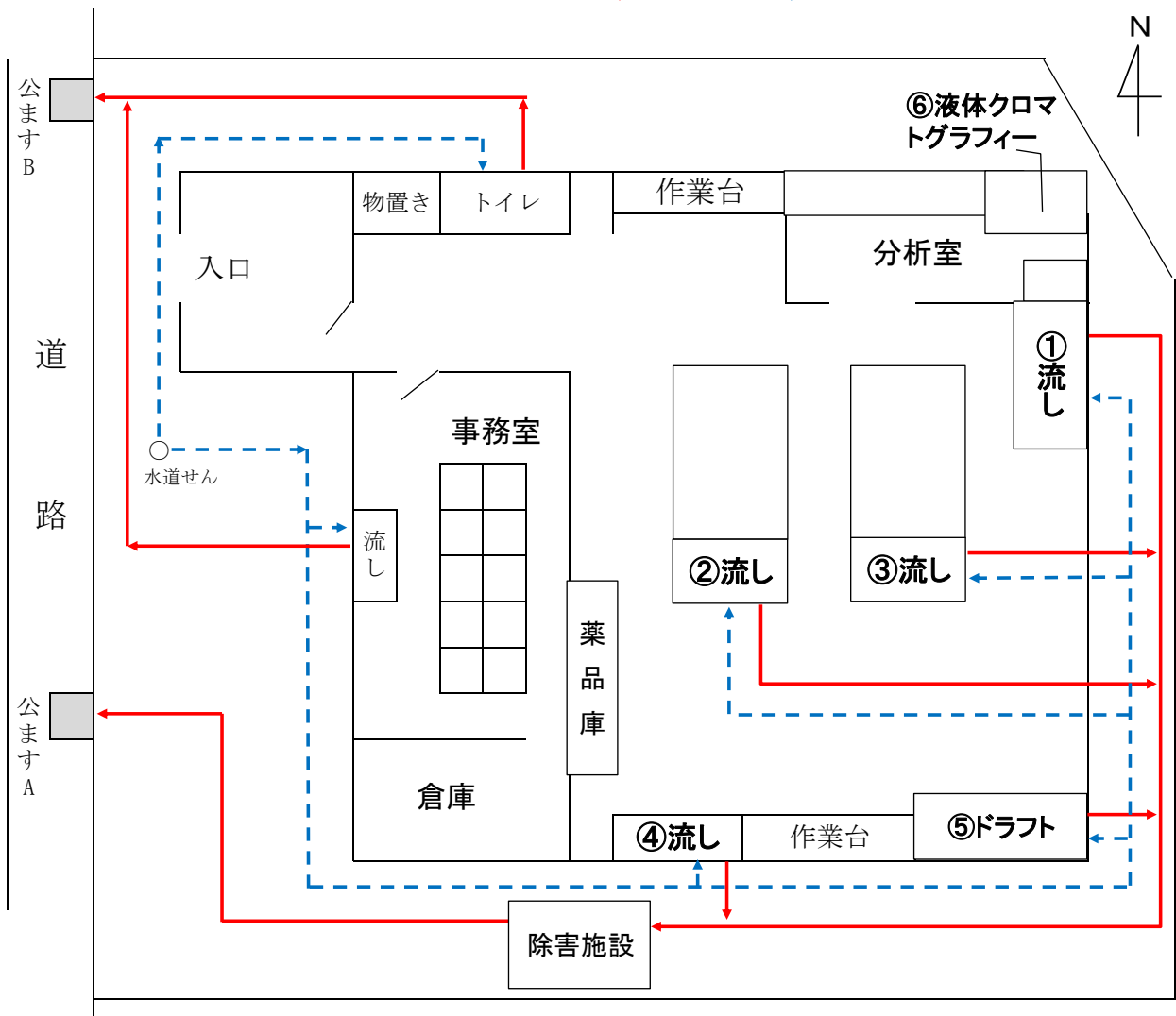
・記入例の事業場平面図(第1図)を参考に、建物又は敷地全体の用水経路及び排水経路を色分けするなどしてわかりやすく記入して提出してください。

排出口番号		1	2						
排出口の名称		公ますA	公ますB	<p>・公共下水道へ接続する排出口毎に水量と水質を記入してください。</p> <p>・排出口番号・排出口名称は任意のものとしてください。 ただし、事業場平面図のものと同じとしてください。</p> <p>・記入する排水量(通常)の合計は7頁(7)の合計水量と同じにしてください。</p> <p>・記入する水質欄の項目は3頁(6)と同じにしてください。</p> <p>・生活排水しか排出されない公ますは「生活排水のみ」などとし、水質の記入は不要です。</p>					
排水量 (m ³ / 日)	通常	0.3	1						
	最大	0.5	1.2						
水質	pH	通常	6~8				生活排水のみ		
		最大	6~8						
ヒ素	通常	0.01							
	最大	0.01							
ベンゼン	通常	0							
	最大	0							
ほう素	通常	1							
	最大	1							
ふっ素	通常	0.2未満							
	最大	0.2未満							
1,4-ジオキササン	通常	0.1							
	最大	0.1							
銅	通常	0.02							
	最大	0.02							
亜鉛	通常	0.01							
	最大	0.01							
フェノール類	通常	0.1							
	最大	0.1							
単位・温度、pHを除きmg/l、ダイオキシン類はpg-T EQ/l	通常								
	最大								

<第1図>事業場平面図（記入例）

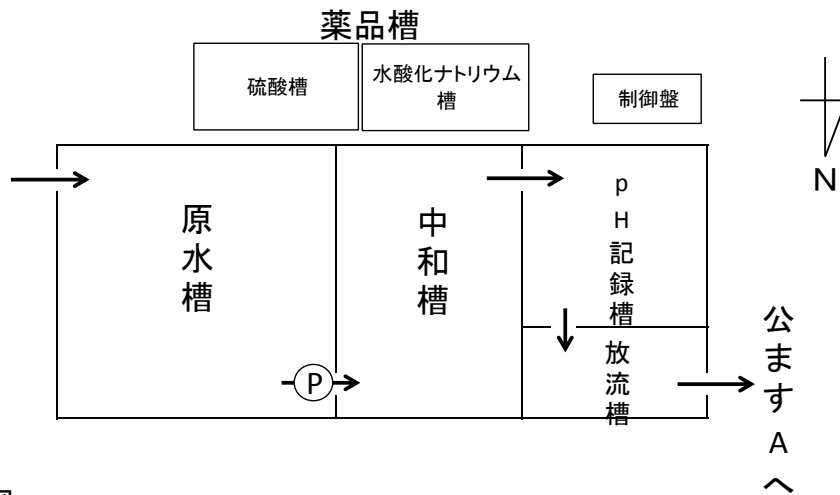
排水経路

用水経路

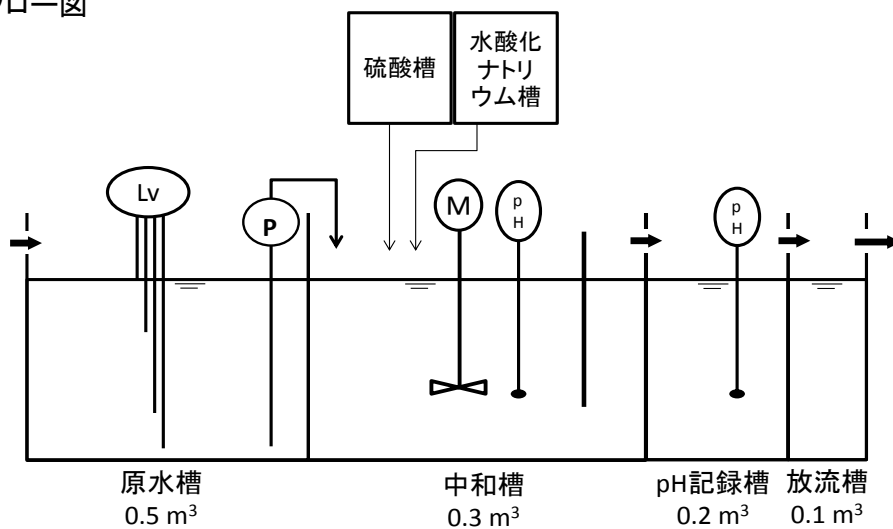


<第2図> 除害施設平面図（記入例）

●平面図



●フロー図



槽の名称	寸法(mm) 幅×奥行×高さ	有効容量(m ³)
原水槽	800×800×1200	0.5
中和槽	600×800×1200	0.3
pH記録槽	500×600×1200	0.2
放流槽	500×200×1200	0.1
薬品槽 (水酸化ナトリウム)	500×500×1000	0.2
薬品槽 (硫酸)	500×500×1000	0.2

使用薬品リスト

薬品名	使用量
・アスパルテーム標準品	50 mg/月
・アセスルファムK標準品	50 mg/月
・エタノール(95%)	2 L/月
・塩化ナトリウム	500 g/月
・	
・	
・	
・	
・	
・	
・	

・使用する原材料や薬品の名称・量を記入してください。薬品によってはSDSの提出を求める場合があります。